

東京都豊島区「暮らしの応援隊」 「孤独死と地域」セミナーを開催

晩秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。11月12日に東京池袋の豊島区民センターにて駒井良理先生と三島幹雄先生（いずれも東京都中央区）が主催をする暮らしの応援隊が同じく豊島区にて展開している豊島区福祉事業者の会（豊福会）との合同企画として介護事業者やそれらに関わる方などが参加しセミナーを開催しました。

テーマは「孤独死にみる地域生活」。社会問題となっている孤独死について、地域とのコミュニティとその関係などについて淑徳大学教授の結城康博先生を講師に開催されました。講演では、孤独死の起きる原因やそれを防ぐための取り組みとして常盤平団地（松戸市）や公田町団地（横浜市）が実際に行っている事業を紹介し、地域コミュニティの在り方などを解説しました。また、実際に起こってしまった事例からその対応についても解説し、予防的な視点と事後的な視点についても説明を行いました。取り組みひとつにおいても様々な方法があることが紹介され、参加者からも質問が相次いでいました。また、行政との関係性についてもふれ、行政だけでは賅いきれない現状から民間での対応が重要という事から、その取り組み方法などについても解説をしていました。講演の最後には質疑応答が設けられ、実際に遭遇してしまったケースなどがあげられ、その対応について質問がありました。



(有)マルシモ 下地社長



結城 康博先生



多くの方が参加された会場

セミナーの最後には三島幹雄先生より「豊島区応援隊」の紹介、説明を行い、11月22日（土）に開催される無料相談会の案内や活動の協力などを求めています。豊島区応援隊では今後、豊島区との関係も強化していくとの事で、今回、出席されている介護事業者の方などに今後の支援などを求めています。多くの方が参加し、セミナーは大盛況にて終了しました。



三島 幹雄先生



次回開催の無料相談会



豊島区応援隊としても今後、無料相談会だけでなく、こういったセミナーやイベント活動も増やしていきたいとの事でした。